京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久紳一郎
京城西署西小門通（電話六八三）
發行所　京城新報社

甘茶澁茶

▲扮裝の命令

某々會社開業式何々總會何々紀念祭等より發せらるゝ招待狀なるものを見るに、毎に追て書若くは注意事項に於て、男子の服裝は燕尾服、フロックコート若くは紋付袴、女子の服裝は白襟紋服たるべき事等の事項の列記しあらざるは鮮し。是れ衣裝を命令するなり、是れ扮裝を强ゆるなり、而して其發信する主裁者又は發起人が堂々たる紳士なると同時に、其の受信する被招待者も亦た概ね堂々たる紳士ならざるはなし。堂々たる紳士を招くに、其服裝を制限し命令するが如きは、無禮も亦た極まれりと謂ふべく不埒千萬の至りならずや。而して之を爲す者敢て怪まず、之を受くる者亦た敢て許からず、何等の滑稽ぞや。任他、我國未だ確たる禮服の定めなしと雖ども、服裝の制限を受くるにあらざれば、堂々たる紳士も勝手に扮裝を爲して式祭に列席するものとせば、日本もマダ隨分幼稚ならずや

▲憎むべき罪惡

美名の下に罪惡を犯すほど罪惡なるはなし。近時の流行事たる何々慈善會と云ふが如き、此の種の惡むべきものならざるは鮮し。美名の下の罪惡余輩は之を色と煮汁とする美人局に比し、戀を餌とする女誑しに喩ふ。色は是れ決して詐を以て行ふべきものにあらず、戀は是れ決して偽を以て爲さるべきものにあらず。然も之れをしも尚は詐偽を以て今日世に盛に行はるゝあるは、美名の下に罪惡の行はるゝある亦た怪しむに足らずと雖ども、罪惡の惡むべき豈に色を詐り戀を偽るの罪惡の惡むべきと異なる所あらんや。善名の下に罪惡を行ふの惡むべき實に此の如く深し。然も其の美名下の罪惡の惡むべきものゝ中、國家を煮汁にするより酷だしきは沒し。如何に狂すればとて、如何に迷へばとて、有ゆる機會を捕ね有ゆる手段を廻らし、國家を煮汁として私腹を肥やし我慾を盈たすが如き、天下何の罪が之より大なるものあらんや、今韓人之を敢てして日人之を助くるあり、而も世人の之を指彈する沒きは何ぞや。所謂馬勃も亦た錦繍を掩へば佳なるもの歟。慣死せざらんと欲するも得ず噫。

▲非常の行ひ

筑州義源院公句あり、曰く、蓬生濁水花尤潔、士處時難氣益振、從俗終成從俗客、異常始爲異常人。然り蓮は濁泥の中に生長して花始めて美に、士は時難の間に出入して氣彌々奮ふ。泥土の彌々濁つて蓮花の彌々美なるは泥土に滋養を取るの力あるが爲めなり。時難の增々募つて士氣の增々奮ふは時難に知識を磨くの勇あるが爲なり、凡卉の泥土に腐れ凡夫の時難に挫く、其の力と勇とに缺くる所あるに職由す。而して士の事を擧ぐるは、啻に其の勇を恃むが故のみにあらずして、實に細心密慮するが故なり。細心密慮にして缺くる所あらば非常の事功は遂に樹たず。孔明が克く周家の基業を爲せしもの、實に小心翼々事に謹慎なりしが爲めのみ。古人の所謂非常の功を爲すものは必ず非常の行ありとは、實に是れ之を謂ふなり。大功は細瑾を顧みずと言ふが如きは、誠に痴漢の囈語と謂はざるべからず。

伊藤公と目賀田男（四）

雜報

地方の金融、若くは地方人民の生活狀態に就ても、公の焦慮せらるゝことは常に察し居るが爲めに、或時地方委員を組織し、財政に關する政府の法令を人民に告示し、又人民よりは各其希望を之に具陳するの便利を得せしむるの方法を設けんとし、即ち地方委員を置くの制度、及び法令を人民に直接に知らすが爲めに、地方人民の集聚する所に揭示場を設くるの件、又た金融組合を設くるの件の如きは、公は時を移さず直ちに各大臣を招集せられ、之を傳示せられ、決行せられた次第であります、元來開發せざる資源を以て國政の改良、伴はしむるは國民負擔の增加に至ることを顧念せられたことは實に厚くあります、韓國の事は山積する紛綜を解くが如き、狀態でありましたが、公はこの紛情錯雜の中に於て、私などの常時進言することは各々速に之を聞かれ、又時には私なるの任務の執行に就き或時は誤解を辯せらるゝ如きことも隨分あつたやうに思ふ、私は時に稍かに之を知り、實に公に對して感荷措かざることであります。公の趣意は一に公正に在つて、唯天下の至誠を以て心とし大計大本を經理し、內を調和し以て際外の信を固くせんとの御趣意に外ならぬことゝ私は常に體察して、苟も之に背かざらむことを祈願したることであります。抑私の在職中自己の任務の關係ある事項に對し公より訓示せられ、談話せられたることは、何時も詳密に承つたことであります、又公の謙讓の德を守らるゝ寔に行届きたることにて、當時叮嚀に教示を受けたことであります。韓國十三道の民生の休戚に就き深厚なる念慮を注がれしは、蓋し公に上越す者はないと思ひます、遠邦に在つて夙夜天子の業命を翼贊せられ、我國運の隆昌を念とせられたる公に對しては實に敬仰の至りに堪へませぬ、私は平和條約を祝し國運の隆昌を祈る爲め、精勵なる刀工に囑し一劍を作り石清水に奉獻しましたが、韓國協約歩を進め小康に際しても、同じく一劍を作らしめ公に贈りて恭敬の微意を表し、公の生前卿の國家に報効して、公の盛意に答へんと期しましたが、今や公亡し、知らず天道是耶非耶。（了）

和歌募集

勅題「新年雪」

選者　九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月二十日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日

本社編輯局

◎新刊紹介

●精神治療新報（七三）　神經衰弱及咳嗽余治の實驗、精神療法の話、神經衰弱の實驗、呼吸健康法、按摩の效果等各種精神病療治に關する記事をのす△十錢△東京芝愛宕町　精神研究會發行

●東京經濟雜誌（一五一九）　前號の續きゝ關稅同盟論保護貿易論者を誡む（一大越）帝國主義論（大西）工業國としての日本（北崎）及び鼎軒田口先生傳（鶴城）等なり金融の景況は例の通り商工業の不景氣に關する諸問案の決論は我心を得たり豐原氏の支那氣質福田氏の工場法案を評す、吉野氏の經濟上の株式會社、澤淵氏の消費の增進及資本の增加也等看過すべからず、彙報商況諸統計等材料豐富なり△十二錢東京々橋區彌左衛門町經濟雜誌社發行



第五十二席

伯山改　神田松鯉口演

松花堂は表から聲を掛け　松「ハイ、今晩は何んだかいつまでも暑いことでありますな　八代「是れは御老人、此暑さにも劣げず御達者なことでござんするなア　松「ハイ、有難いことには身体は益壯健でな……」白縫姫も　白「さア何うぞ此方へ御這入なされて下さいませ　松「イヤもう此處で結構でござる、暑くて却つて此方が宜しい御免……」と椽へ腰を掛けます、女童は布團と茶を持つて來る　松「もう何うか構つて下すつては困ります、此樣な濱邊で漁師許りで話相手が無いでなア、外に話相手が無いものだから、ツイ御邪魔をして……」……白「イエ手前の方も寂しくてなりません、貴方が御出で下さるので、面白くて氣も晴々致します　松「イヤもう長く生きて居ると、種々のことを見聽きするものでござるテ……」白「何か珍らしい御話でもござりますか　松「珍らしいと云つて實に勇ましい話があるのでな　白「へー、勇ましいと云つて戰爭でもございましたか　松「戰爭ではござらんが、貴女はもう八九年も此土地に御出だが、以前は肥後とか筑前とかの御方ださうだから、定めし御承知でもござらうが、八郎爲朝殿がな」白縫はハツと思ふ、御曹司のことを話されたので胸は躍るやうな思ひ　白「エ、アノ爲朝とやら云ふ御大將は何うなされましたか　松「イヤさう急ぎ給ふな、今段々に話をするが、御前さん達も爲朝殿を見たことがあらう　白「妾共が筑前に居りました時、チョイ〳〵狩に出かけまする處を拜みましてございます　松「オヽさうでござるか、定めし立派な大將でござらうな」松花堂は固より爲朝の妻白縫とは思ひませんから、斯く申しまするので、白縫は流石に返事も出來ず、顏赤めて居ります、八代はニコ〳〵笑つて「妾も御曹司を時々拜見致しましたが、夫れは〳〵立派な凛々とした御方でございます」白縫は唯笑つて居られる　松「さうであらう、私は逢たことはないから知らぬが、人の話の模樣、其行を見ても大抵其人物が分かる、イヤ九州で隨分威張つたものだ其後都へ上つて崇德院の御味方をしてイザ戰爭と云ふ時に、種々と好い策略を申上げたけれども、左大臣賴長と云ふ人が戰さのことを、知らないので一切其の謀を用ゐない爲めに到頭敗軍して、氣の毒にも父の爲義と云ふ人は捕へられて打首となり、爲朝殿は近江に逃れて居たのを、湯に這入つて居る所を、五六十人で取卷いて生捕られた、都でも始め死刑にしやうと云ふ詮議もあつたけれども斯かる勇士をムザ〳〵と殺すのは天罰恐ろしと云ふので、肘の筋を拔かれて伊豆の大島と云ふ處へ流されたのぢや　白「其砌は薄々聞いて居りますが、夫れから先きが早く承はりたいのでございます　松「無論是から話すのだ、何うしても生來の豪傑だから大島に流されても、普通の罪人とは違つて、其儘流罪として居るやうな人ではない、遂に伊豆七島を征伐して主人となつて居たのだが、此伊豆七島と云ふのは、狩野之介工藤茂光と云ふ人の領分であつたが、一向に貢物をしないので茂光は一切伊豆への便船を止めてしまつたので此十年許りは大島は海上に孤立して別個の仙境でも云ふべき有樣で、爲朝は却つて是れを幸にして居たが、近頃茂光が上洛して此事を朝廷へ訴へ出でしに、爲朝追討の院宣を願つて、北條伊東など云ふ輩を語らつて大島を攻めに往つた」と松花堂はグイと茶を飲干した、白縫は益乘地になり、膝の進むも覺ねず、早く後を聽たいと云ふ顏付、松花堂は再び口を開き「所が是れからが聽きものなのぢや私の弟子が筮竹を持つて易者になつて諸方を廻はり、丁度此春伊豆に居たが又態々大島へ便船で渡つて一月許り大島に居たので能く何も彼も知つて居る昨日歸つて來て私に詳しく話したが、實に爲朝と云ふは豪傑なものぢや」と蚊をピシャーンと一つ叩き　松「アヽ痛い大きな蚊だわい、話に夢中になつて首筋を此樣に刺されたわい　白「アレ先生其樣に焦らさずに早く聽かして下されませ。



京城新報

韓銀株主總會

株式會社韓國銀行は、其定款第五章第三十五六條に從ひ、來四十三年二月を以て定時株主總會を東京に於て開催すべしと傳へらる。開業僅に二箇月に滿たずして、早くも株式總會を開くは、一見奇異なるが如きも、定款の定むる所之を遵奉せざる可からず。

抑々韓國銀行設立の事の發表せらるゝや、世人は深く研究する所なくして之を驩迎したり。就て株式募集も容易に濟み、何の支障もなくして創立總會を終り、間もなく成立し、第一銀行の引繼を受けて去十一月廿四日を以て開業したり。世間會社銀行の設立せらるゝもの少なからずと雖ども、同銀行の如く容易に創立し容易に開業したるものは、未だ之れあらざるなり。然れども諺に云へるあり手易く成るものは手易く壞ると、余輩は同銀行の將來の果して從前の如く順潮なるや否やを危む。政府當局者及重役諸子は勿論、苟も同銀行に關係を有する株主たるもの、深く念を此に致さゞる可からず。

初め韓國銀行の權利株が五十圓を稱せらるゝや、余輩は其の何の故に然るかを知るに苦しみぬ。後額面四分の一即ち二十五圓の拂込の決了したりし時倘ほ五十圓を唱へ、間もなく何の作用に據てか遽に昂騰して六十三圓を摩せしも今は又た暴落して五十八圓を呼ぶに至れり。凡そ株に昂低あるは業務の盛衰を表張するものにして、未だ歲月を經ざる韓銀の株の昂低する理由は甚だ不可思議ならずとせず、余輩の見を以てすれば、同銀株の斯く昂低するは、銀行其者の組織、同銀と韓政府との關係、同銀と一般との關係、韓國に於ける同銀の位置、同銀の執るべき營業法及び銀行券發行の將來等に關する株主及び世人の智識が極めて朦朧たるに基因するが如し。之を樂觀する者は無限に兌換券の發行せらるゝと思ひ、同銀の暴利を豫想し、無暗に株の高値を呼び、之を悲觀する者は同銀の政府より受くる補給は五箇年間六朱の配當を保證するに止まり、兌換券の如きも發行額二千萬圓に限られ、而も一銀時代に發行額一千萬圓なりしものが今後數年間に遽に倍徙するの理なく、加之同銀は今後二十年間每年四十萬圓宛の利益を割て第一銀行に分配せざるべからざるが故に、多額の利潤あるべくもあらず茲五箇年間六朱の配當は確なるも其後は疑はしとし、株の安値は唱ふるなり思ふに此等の觀察は俗に云ふ隔靴の觀察ならん。然れども此の隔靴の觀察は從て同銀の不幸を釀すものなるが故に必ず之を取除かざるべからず。之を取除かんと欲せば必ず先づ銀行の實物と銀行と世間との關係及び韓國の實狀を知らしめざるべからず。之を知らしめんと欲せば先づ手近なる方法として同銀の定時株主總會を本店所在地たる京城に於て開催せざるべからず。定時株主總會にして京城に於て開催せらるゝこととならんか同銀行の中樞たる大株主は勿論數多の株主は毎年二回渡韓すべし、而して總會に出席の序同銀行萬般の實狀に就て智識を收むるの便宜を得ることゝなるべし、百聞は一見に若かず株主全体にして銀行の實狀に通じ世評の爲に動かされざるに到らば假令如何なる投機者の現はるゝとも株は一定の實相場を保有し銀行の信用は磐石の上に基礎を有することゝなるべし若しも不幸にして銀行當局者が余輩の言に聽かず株主多數の內地人なるを理由とし其便宜云々を名として本店所在地を遠隔せる東京に於て總會を開催し銀行の唯一立法及監視機關たる總會を單に形式的無意味の者たるに了らしめんと企つるに於ては余輩は銀行の前途に就て大に憂慮すべきものなくんばあらざるなり。

東京電報

▲炭坑慘死者へ賜金

大野浦炭坑瓦斯爆發の爲め多數の死傷者を出せる事天聽に達して兩陛下には深く御憫然に思召され特旨を以て罹災者の弔慰金又は救恤金として金八百圓下賜尙狀況視察の爲め日根野侍從を縣下へ御差遣相成たり(十日)

▲鹽田の整理計畫

政府は愈々鹽田整理の計畫を立て收獲少き鹽田を買收して之に公債其他の形式に依て代償金を交付し臺灣鹽關東鹽の輸入制限額を擴張して此が補塡を計る方針也(同上)

▲實業團の歡迎會

市內各團體は渡米實業團歸京後一大歡迎會開催すべく準備中又商業會議所にては十七日辭濟の一行を迎へ十八日解散式と同時に一大園遊會を開催する運びなり(同上)

▲旅順開放に決定

政府は旅順口開放が愈々本年中發表するに決定せり(同上)

▲大久保大將の出發

駐韓軍司令官大久保大將は昨夜十一時新橋發歸韓の途に就けり(同上)

▲旅順開放と滿鐵

旅順口は愈々商港として開放するに關し決定し本年內に發表さるべしとは別報の如くなるが其結果滿鐵會社は同港を大連の補助港として經營し海軍鎭守府撤廢後の艦渠は滿鐵の管理に移さる可し旅順開放後の營口には南下鐵道力增大の爲め甚大の打擊を蒙るべく豫想せらる(同上)

▲三井銀行の利下

株式會社三井銀行利下愈々發表され定期預金四朱半六月預四朱となし十一日より實施す他の諸銀行も追て實施の筈なり

桑港電報

▲烏丸伯爵の薨去

烏丸光行伯は胃癌にて逝去せらる(同上)

▲運河開通と博覽會

千九百十五年巴奈馬運河竣功、就き萬國大博覽會開催すべし(十日着)

歐州電報

▲白耳義王の危篤

ベルギー王レオポルト陛下は危篤に陷らせらる(十日着)

▲領事館の新設期

倫敦よりの通信によれば領事館設置に關する日本土耳古間の交涉は好結果に進捗し日本は君士坦丁堡スミルノサルニヤ領事館を建設すべしと(同上)

▲日露公債の騰貴

倫敦株式市場に於ては日露兩國公債は活潑にして騰貴したり(同上)

大連電報

▲兇漢重根の公判

兇漢安重根以下八名の連累者の豫審結了し一件書類整理中なるが其犯跡は範圍を擴め一方北韓方面に於ては尙取調繼續中なり公判は來年一月下旬になるべし

雜報

三南地方の平穩(今村警視の視察談)

群山開署式及び光州暴徒討伐殉魂紀念碑除幕式に參列したる今村警視の談を聞くに南韓に於ける暴徒は大討伐の結果頗る靜穩に歸しれれ殊に三南地方は日韓良民協力一致して暴徒討伐を爲し交通危險の虞ありし箇所も今は自在に通行するを得るに至れり予の出張中尤も危險視され居たる葛澤街道に差懸りし際韓人約六十名ばかり手に/\竹槍を携へ一團となりて進みつゝあるより何事ぞと問訊したるにこれより暴徒討伐に赴くところなりと答へたり彼れ等は一切銃器携帶を禁ぜられたる爲め餘儀なく竹槍を武器に替へをれる次第にて暴徒討伐につき會に之等韓民のみならず郡守面長は政官迎協力し日韓官民相互間の極めて圓滿なる意思の疏通を現じたれば目下のところ殆んど暴徒の跡を絕てり之が證とも見るべきは三南地方至るところ棉花豐作にて日人の取引に入込めるもの頗る多く光州の除幕式も盛況を極めたるが同紀念碑は高さ約二十丈のものにて町端れなる小丘の上に營まりこゝに鷄卵石にして昔より洪水の場合光州を壞き止むる守護神と信じられたる者にて今回之を紀念碑に充て一面忠魂を弔ふと共に一面三南地方の安寧を期する旨同地方韓民の口々に傳へられつゝあり參會者七八千名に達したる內にも暴徒討伐に加參して殪れたる憲兵補助員及び巡查の遺族がいづれも感泣して碑前に參列したるは一際人目を惹きたり總體三南地方は沃野に富み本年は極めて豐作なりしが農民は却つて困窮しれるは米價下落し收入の額に減じたるが爲ならんか

統監と合邦問題

一進會の日韓合邦建白書を接受したる曾禰統監は一昨九日往訪の客に語つて曰く合邦問題に關する我輩の意見は玆に言明の限りに非ず乍併我が政府にして若し此意向あらば統監の職責上必ず先づ是に干與し以て實行の局に當る可きを諒せられよ元來日本の對韓策は終始一貫決して變るなしと雖も多數の韓民等が切りに日本政府の意志を忖度して恐怖措く能はざる結果徒らに過激の言論を縱まゝにしつゝあるが如きも我輩は或る程度迄は言論の自由を與へんと欲して曾て何等の干涉を試みざりしも然れども此寬政に狃れて愚民を煽動し治安を妨害するが如き行動あらば政派所屬の何たるを問はず一步も假借せざるべし而して此旨所屬官憲を始め閣臣にも嚴重に戒告を加へ置きたりと語り統監の態度は寧ろ輿論と其歸向を一にせる如かりし由

韓國の治安警察

警視廳に於ては今回の時局に就て政派の各首領其他に對し此際人心を動搖すべき意見書を發し集會等をなすべからずとの訓示を與へたることは別項記載の如くなるが若し此訓示に隨はざる者はどし/\治安法にて處分する筈なれば到底手も足も出ぬことになるべし而して韓國の治安法は隆熙元年七月二十七日法律第二號を以て發布したるものにて自强會及同友會の解散並に朴泳孝の流罪等も皆此の法律に依りて處分したるものにて今其の內容を見るに必要なる時は結社の解散多衆の運動及群集の制限禁止、文書圖畫の配布、政治に關し不穩の擧動ある者は退去又は制限することを得るの規定なりと

韓國鐵道の會計

鐵道院の經營は純然たる獨立會計にして一般會計とは全く無關係なれば就て今回京元、湖南の兩鐵道新設費即ち來年度より向ふ六箇年の總線工事費總額三千二百萬圓の年割額を來年度豫算に計上すると同時に從來統監府所屬たりし韓國鐵道全部を擧げて之れを鐵道院の管理に歸せしめたるより今後韓國鐵道の經營は現に當面の問題たる京元湖南二線工事費等の如きも亦悉く鐵道院の獨立會計に於て處辨する計畫なるが右は鐵道行政統一の便宜上其の管理丈けを鐵道院に委ねたるに過ぎずと云ふ

統監の東上行程

曾禰統監東上の件に就ては先日來種々の臆說ありしが探聞する所に依れば新年一月三日當地出發東京に於て各種政務の打合せを辨したる後片瀨の別莊に暫時靜養の上同月下旬迄に再び歸任の豫定なりと云ふ

●水上警備船の效果(京城通信)

麗水、木浦の二箇所に警備所を設け水上巡邏船絕へず海上を監視せる爲め同地海岸附近の暴徒及び海賊船は今や殆んど其影を絕ち交通上極めて安靜なるより淸韓人は勿論日人漁業者等も陸續同地方に集まり景氣大いに振へり元來警備船は漁船の如く裝ひ居れば一見それと知る由なきも精銳なる機關砲を裝置しあり效果極めて大なるが賊徒も此機關砲には尠からず怖れをなしたりと同地方より歸任の今村警視は語る

●慈惠醫院と建築物

全州慈惠醫院は同地郡守の內房にて財務監督局職員官舍跡を借受け開院したるが位置の偏し居れると建築物頹敗せる爲め修繕費に多大の費用を要するとにて早晚いづれへか移轉せざる可らざるより目下韓人所有家屋約千坪位の建物を千五百圓內外にて買收し更に增築する事に內定し居れりと又濟州慈惠醫院も孔子廟附屬舍を充用せしが是又位置の惡しき爲め移轉の議あり止むを得ざれば警察署の官舍に移る事となるべし

●船舶法發布は中旬

目下農商工部に於て調査中なる度支部立案の船舶法は來年度豫算編制の都合上至急解決を要するを以て度支部は再三農商工部へ其進行を促がしつゝありしが兩三日中には同部より意見書添付廻送あるべき筈なれば然る上兩者の意見に格別の間隔なきに於ては直ちに閣議案を具し閣議及參與官會議に付し本月中旬迄には發布の運びに到るべしと

●國民演說會の聲明

元老圖泳部の會長たる國民演說會は一昨九日幹部會を開らきたる結果聲明書を發表し昨十日午後一時從二品金重煥洪弼周の二名は統監府に佐竹秘書官を訪問し統監に聲明書の取次ぎに依賴したり今聲明書の內容を聞くに日韓合邦論には大々的贊成するも一進會が今回某々小策士の甘言に乘ぜられ聲明書を發したるは輕擧なりと云ふにありと

●慈惠院新設と韓民

本月より各地に慈惠醫院の新設を見たるが韓民は皆な隨喜の淚を溢へ李朝五百年來かつて接せざる福音なりとて德澤を謳歌しつゝあり淸州の如きは韓民一同尤も熱誠なる感謝の意を表しつゝありと某筋へ報告達したりと云ふ

●大韓協會聲明內容

大韓協會は一進會の日韓合邦聲明書發表以來態度曖昧なりしが幹部會を開きたる結果日韓合邦說には贊成なるも時機尙早なりと云ふに決定し來る十二日其の意味の聲明を爲すべしと云へり

●昨日の技術官會議

十日は和田測候所長宮原農林學校長鳥潟城師範學校教諭等臨席委員會に於て調査せし協議事項本會議を開けり

●銀行員の懇親會

漢湖農工銀行支配人久能氏の發起に係る銀行員懇親會は九日夜六時より淸華亭に於て開催したるが度支部よりは藤原、河內山の兩書記官阿部事務官農工銀行金融組合及技術員等二十餘名出席し藤原書記官の訓示演說あり頗る盛會なりしと云ふ

●韓字新聞の押收

浦鹽にて發行せる大東共報第一卷第一、二、三、四、五の各號は治安に妨害ありと認められ昨十日內部に於て押收せられたりと

●燈臺巡視船歸航

燈臺巡視船光濟號は北韓巡航中の處十日仁川に歸港更らに廿日頃大連方面へ回航すべしと

韓國穀物の賣行

日本に於ける本年の農作が田畑共に著しき增收ありたるより例年の如く韓國より輸入すべき穀物に大影響を及ぼすべく豫想し特に米穀の如き約八百萬石內外の捌け口に疑懼を懷きて大連其他布哇方面迄其販路に關する調査の手を伸ばしたる趣も聞えたりしが其後實際の狀況は豫想に反して順調を保ち客月中釜山を經て日本に輸入せられたる米一萬五千三百八十石、麥一千四百五十四石、豆七萬六千百八十六石、荏子一千百十三石にして以上總價額は五十九萬三千百廿七圓に上り前年度に比すれば廿七万六千百九十一圓の輸出增加を示せるのみならず尙は釜山便に依らず他の方面より連絡汽船に依りて直輸送せるもの二萬六千六百五十五個に達し之れを前年に比すれば二万餘個の增加を示せるが如斯く韓國米穀の日本輸入高を減ぜざるは米に在つては其質不良なるも日本產米に比し價額低廉にして下層社會の需要に適し大豆其他の雜穀も亦同樣、味噌醬油其他工業用として下等釀造品に缺く可らざるが故にして今後とても韓米の販路は日本に於て頗る悲觀すべき理由なしとなり

●韓國產大豆の前途

韓國產大豆の品質善良にして本國は固より滿州產に比しても凌駕するとは關稅局の分析に徵しても明かなる事なるが昨年來大豆の歐米向需要頗る盛なるに伴ひ韓大豆の聲望益高く前途頗る有望の境に進みつゝあるが韓國にては外國と直接取引を有するは單に三井物產の一社位に止まり從ふて外國取引の金融機關は皆無の姿にて切角良質なる韓大豆も歐米向直接の輸出の運に到らざるは甚だ遺憾の事なり是れに就ては外國との金融機關皆無の他現今の在韓商人の組織にては規模余りに小なれば一面合資若しくは株式組織となし歐米に向つて直接輸出を試むるは頗る有望なる事業なりと云々と某實業家は語れり

●小麥栽培頗る好望

本國に於ける小麥の需用は年々長足の勢を以て增加しつゝあるが其輸入先はカルカッタ及米國他小量濠洲等なるがカルカッタ米國の如きは遠隔の爲め多大の運賃を要し比較的高價なるの憾みあり然るに韓國は土地小麥栽培に適し其生產費も米穀に比して大に廉く就く便あり今後若し韓國に於て其栽培を獎勵し本國の需要を充すに到らば彼我兩間の利する處鮮からず

●平壤採炭所長內定

平壤無煙炭坑の經營に就ては既報の如く大規模の採炭計畫と煉炭所の新設とを豫算し約七十萬圓の經費を農商工部より度支部へ要求せるが該經營は日韓兩政府交涉濟の結果なれば無論成功すべく而して是が所長には現德山煉炭所長にして今回昇任せる海軍機關少將武田秀雄氏特に來任せらるべしと確聞す

●防疫從事者招待

去る八日龍山居住吳台煥、任肯準の兩氏が警察署長、民長其他本年虎疫流行の際防疫に從事せし人々を請待し慰勞宴を張りしは既報の如くなるが兩氏は今十一日更に龍山署勤務の日韓巡查を元町一丁目共成學校に請待し慰勞宴を催す由なりと

●遞羅內務次官來京

遞羅內務次官ピヤ、シー、サハデーブ氏は一昨九日入京アストルハウスに投宿したり同氏は昨十日昌德宮、慶福宮、園丘壇及動物園を巡覽し午後曾禰統監石塚總務長官事務取扱を訪問したり

●韓國模型の竣成期

日英博覽會及福岡共進會に出品すべく目下福岡市に於て製作中なる韓國模型は前者は本年中に後者は明年一月中に竣成せしむる豫定なるが現在の功程を聞くに漸く過半に達し居れりと云ふ

●英米總領事の訪府

新任米國總領事シドモーア氏及英國總領事ボーナー氏は昨日午前十一時相前後して曾禰統監を往訪し歸途統監府に石塚長官を訪ひ新任の挨拶を述べたり

●六師團新兵の入營

駐韓第六師團へ入營すべき新兵一千名は今十一日龍山に到着する筈なりと

●英國領事の歸任　歸國中の仁川駐在英領事レー氏は此程歸任せしを以て臨時代理ホワイト氏は十日京城に歸任

●新舊民長送迎會　京城民團議員一同は昨十日午後六時より京城ホテルに於て新舊民長送迎會を開催したりと

●齊洞校の母姉會　十日午前十時齊洞官立普通學校にては母姉會を催ふし來會者多數學部より柳田事務官臨場す

●平井三氏來京　金浦地方金融組合技手の同氏は九日入京佐藤旅館投宿

●上林課長の歸任　度支部開城參政課長上林敬次郎氏は九日出發歸任せり

●庄司署長の歸任　京畿水原警察署長警部庄司政太氏は九日出發歸任せり

●平原保氏の出發　永同地方金融組合理事の同氏は九日出發任地へ向へり

龍山通信(十日支局報)

▲漁業市場創設　京城龍山の有力なる實業家數氏の發起にて龍山に魚菜市場を設置するの計畫あり一昨九日夜龍山和歌の屋に於て發起人會を開き資本金五万圓株式組織とするに決し直ちに定款の起草に着手したれば不日理事廳に向つて設置認許の請願を提出すべく場所は龍山新市街にて選定するならんと

▲軍司令官歸朝　上京中なる大久保軍司令官は十日新橋發十三日午後八時十分南大門着列車にて歸任の豫定なり

▲軍參謀長歸期　旅順に出張中なりし明石參謀長は九日陸路旅順を出發せしにより多分十二日歸任するならんと

▲運輸荷物取扱　鴨綠江愈結氷九日より旅客手小荷物連絡輸送開始されたり但し大荷物は未だ取扱はれずと云ふ

▲新義州の寒氣　昨十日朝新義州の氣溫は攝氏寒暖計零度以下六度に下れり

▲大神宮奉齋會　前年二條公爵等渡韓して大神宮奉齋會支部を龍山に設置せんが爲め龍山孝昌園內の一部を借受けんと欲し度支部に交涉せしも同園には韓皇祖の廟ある爲許可されざりし由なるが頃者龍山の有志者は大神宮奉齋期成同盟會を組織し一昨九日其決議に依り東京なる本齋會本部に支部設置の請願書を提出すると同時に其位置の撰定に着手し昨十日孝昌園の東方に約三万坪の畜地あり或は適當なる位置ならんかとて同盟會員等は檢分に行けりと

往生際の小策士



▲死で幽靈に成り相な男

日韓合邦なんぞと白痴者らしの問題を擔ぎ一人よがりの誤繆論を提げ來り天眞樓上に陣取つて「錦窓の昔勇ましく響きり雲の上にも聞ゆなるらん」など放語して得意の鼻高々と大きな夢を見て御座つた一進會の小策士も韓國名物の揚衣の昔を聞く樣にトン／＼拍子に行く筈の日韓合邦論も日人側には無論のこと韓人側にも厚過く所が鼻でつまゝれ謀反人の片手先きだの日本人の面汚しだなぞと口汚なく言ひ罵らるゝに運樓吾では無かつたが思案の首を捻つて見ても東京出立の砌り仕入れて來た智惠はモウ既うの昔種切れのことゝて甘い考への浮ばぬ道理もなくさりとて小包郵便で取り寄するにしてもオイソレとは間に合ふ筈もなきに焉慮吐息熟々と考へれば考へる程出るものは愚痴計かり善後策どころか天眞樓の拂ひへ向うなることやら考へ浮ばず四苦八苦の大煩悶も身から出た錆と思へば氣の毒ながら氣の毒とも思はざれず然るに大概目前の見へる人間なら一寸も見限つて引き上げるべきを斯くても思ひ切りが付かず三館に車を驅り早速易斷を乞ひたる所が可の居る自分の宿の部屋が鬼門に方つて居たからなりと云はれたので吃驚したが追つ付かず寒ぎり身や赤毛の狒々の樣に顔のみ顰めて御座るとか實を明せば彼の部屋こそは亮島森林拂下運動で大醜態を演じた金時大壼江藤菜が本城なりし聞いたら膽が潰れるなるべし死んで幽靈に成つて出るのは斯う云ふ男の仕相な事なり

口程に無い弱虫輩

▲所謂韓國志士の見本

夢にも一進會が日韓合邦とか云ふ丈夫へ騒ぐたの問題にでも有り相な時髦氣切つて一大事件を物を出したので天下の一大事で御出したかの如く騒ぎ立つたる漢城政界の狀態は今や全く國論を火に掛けた如く敵味方入亂れての大混亂の何れは同じ運命に捉はるゝ身ながら拐て社會保安の責を負へる警視廳では捨て置かれず九日午後一時國民演說會長閔泳韶大韓協會長金嘉鎭一進會長李容九漢城府民大會長玄隠の四名を召喚して總監親しく引見し嚴乎たる態度を以て「卿等苟くも國家の志士を以て自ら任じ身を挺して國政を論議す必ずしも不可ならずと雖も其結果不穩の行動に渉り衆庶を驅りて政爭渦中に投ずるが如きあらば徒らに民心を擾亂せしめ禍害の及ぶ處更に恐るべきものあり故に當局者は此際未前の注意を乞ひ平和の軌道を逸せざらん事を望む」旨懇々諭示したるに一同總監の厚意を謝して退出したるが夫れより閔泳韶は鍾路商業會議所に赴き豫て總監の召命何事ならんと待ち焦がれ居りたる承寧府總管趙民熙を始め鄭應卨高義駿李根相李根澔閔泳達の面々に諭示の詳細を傳へたるに鄭應卨は憤然聲を勵まして曰く「國家存亡の大事に方り吾等同志が蹶起せるに漫りに言論の束縛を加ふるが如きは不法も亦甚だし如何に官憲なりと雖も斯かる不法の命令は聽くを要せず」と激昂したるにぞ他の同志は孰れも附和雷同し就中趙民熙の如きは拍手して之に贊し放議論辯鼎の沸くが如き所を潜かに其行動を監視し居たる警官は聽き捨て難き彼等の言動最早容赦すべからずと直ちに鄭應卨を引致したるに一座忽ち青菜に鹽を散せし如く萎ほれ返へり趙民熙の如きは急ぎ車を飛ばして其他の同志と共に退散せりとぞは[illegible]山崎街道の猪よりも劣つた志士なり

流車に危害を加ふ

▲京釜間列車に投石す

近頃京釜線各所に於て進行中の列車に危害を加ふる韓人頻々として絶へず去る三日には午前釜山驛發の急行列車南大門に向ひし途中院洞驛と三浪津驛との間に於て韓人の一群列車に向つて投石し總に客車の硝子窓に命中せしも幸ひに旅客には別條なかりしが又兩三日前も釜山驛を午前發車せし急行列車の三浪津驛を過ぎて密陽に着せんとする際又同韓人の一群投石し這度は食堂の硝子窓を破りし由なるがさても危險千萬のことゝいふべし

●舊師の宅で窃盜　原籍忠淸南道稗山郡二北面下令里三統五戸當時京城南部小山林洞卅六統一戸李完碩方寄宿學生李孝性(二〇)は本年五月出京して東部蓮花坊盤洞十六統五戸徐光前(五〇)といふは渠が曾て鄕里にて教師たりし韓人の紹介にて東大門內利木洞耶蘇教信學校に入學して勉勵中去る八日午後七時卅分頃前記舊師の宅を訪ひたるに折柄家人の不在なりしに不圖惡心を起し押込內にありたる布團二枚を窃み出して脊負ひて知人なる西小門內鎗井洞蘇宗煥方に持ち行かんと美洞派出所前を通過せんとせるを見張中の警官に怪まれ訊問を加へられしに答辯頗る曖昧なれば尙一層嚴重に取調べたるに遂に包み切れず前記の次第を自白せしかば南部署に連行し司法警部に引渡したり

●ヨボ泥の四苦尻　一昨九日午後三時半頃櫻井町八十三番戸岩崎善吉妻さく(三六)なるもの永樂町派出所に出頭して只今自宅に於て金三十圓を窃取せられましたと屆出でたれば詰合の好田巡査は時を移さず現場に出張して捜査したるに居合せたる中部洞口前居韓人金善奉(三三)の舉動怪しき點ありたれば直ちに派出所に連歸り身體撿査を行ひたるに同人の右袴の內部に五圓紙幣六枚を隱し持ちたるを發見したるに依り其出所を詰問せしに遂に包み切れず全く同人が家人の隙を窺ひ窃取したる旨白狀せしかば窃盜準現行犯人として身柄は南部署に檢束したり

●十二歳の迷子　八日午後七時半頃日韓瓦斯電氣會社技師內山彌左衛門氏が龍山橋を通行の際十一二歳の少女が路に迷ひて泣き居るを見て何處の者ぞと問ひしも口も利き得ざる程に凍ね居るを哀れと自宅へ連れ歸り樣々にいたはりてさて問試みしも頓と要領を得ざるにぞ龍山署へ電話にて此旨を通じ同署より係官出張し少女を受取りて歸署し諸方に照會して漸く北米倉町下宿屋愛知館秋田松三方に寄食し居る縁家の子西村ちよ(一三)なること判り同人に引渡せしがちよは其日の午後二時頃龍山に使に來て道を迷ひしものなり

●大男の保護願　廣島縣神名郡生れ橋本爲一(三五)といふ意氣地なしは仁川にて船乘を渡世として居しも厭になり七日龍山に來り氣樂で骨が折れずに相成るべくは遊ばせて置いて食はせてくれる奉公口を探せしも一向相手になる人が無く錢は無くなる腹は空く大に閉口して警察署に保護を願出でしが見れば鬼をも挫かん大男なるより警官も呆れ果てゝ働いて食ふのがよしと叱りつ諭しつして居る時偶々同署に來合せたる小山といふ軍人が見て三十錢を惠み與へしに同人は叩頭百拜し引下る

●仲仕の立廻り　仁川濱町二丁目白銀鑛力商店方にて同町小松組仲仕吉村伊八(三三)及び同町一丁目藤井藤助(三五)の兩名は一昨日午後十一時頃散々飲酒したるが禍に始て亂に終るの譬へに漏れず些々たる言葉の行違より喧嘩をれつ初め立廻りを演じつゝある處に斯くと訴出でに接し仁川署より巡査出張說諭の上歸宅せしめたりと

●ヨボの行倒れ　仁川花町三丁目中尾米店横に一名の行倒れ韓人あるを十日午前二時頃發見し警官出張取調べたるに言語不通なるより更らに附近の韓妓店金德允を呼起して聞糺したれど要領を得ず這は察するに飢寒に堪へずして此仕義と判明せしにぞ直に面議所に引渡したりと

●仁川藝妓曰く集　淺岡の八千代曰く鬼さんが居なくなつて妾ほんとに淋しくなつてよ……▲八坂の加代曰く妾役者が一番好き……其內でも○○新聞の彼の人の舞の手に陽魂惚れつちやつた▲一富士の富美子曰くゑへん見掛けは悄氣て居つても內心は一番陽氣なのよ▲鱗の笑子曰く秋田はんはほんまに慘酷だつすは……▲一山の琴代曰く妾はもそつく／＼年老は厭になつて來た誰れか若い好い男はないか知ら

●狐鼠泥棒の徘徊　仁川署警官が十日午前三時過ぎ山根町を警邏中同町相良酒場の裏手より怪しき韓人現はれ警官の姿を見るや後をも見ずして疾走したるより之れを追跡したるに龍岡町二丁目にて遂ひに行衞不明となりしにぞ件の警官は引返して前記酒場に至り盜難の有無を取調べたるに納屋に仕末しありし炭十數俵の內より四俵を庭まで持出しありたりと歲の暮れに古鼠泥の徘徊多きは每年の例なれば夢油斷すべからずと依て如件

●懷中時計を拾ふ　九日午前十一時頃龍山老松町元上田病院前にて前川フデといふ女が鐵側懷中時計一個を拾得し龍山警察署へ屆出でたり心當りの人は同署に申出づべし

●本願寺の說敎　今十一日午後七時より南山本願寺別院に於て說敎ある筈

●歌舞伎座の蓋明　旭町歌舞伎座に於ては今十一日より舊劇女小供一座にて蓋明けする筈なるが久敗舊劇に渴したる事とて定めし大入を占るべし

新年の韓國劇壇

▲大方は新派劇で占む

四十二年の韓國劇壇は頗る振はなかつたが晩秋に至つて新派界では兎も角も名優として立てられたる福井茂兵衛の來韓に依つて先づは掉尾の何んとかとでも云ふ可きか、さて來る一月の劇壇は云ふ迄もなく先づ當地壽座は例の伊東文夫一座より福井を除きて新たに若手數名を加へ華々しく旗揚げを爲す筈にて演物としては先般大阪にて若手舊俳優連の演じたる伊藤公一代記を演ずる由同劇は公が青年時代、井上侯等と共に屢々白刄の下を潜りて國事の爲めに奔走せし狀況を物したるなれば定めて好評を以て迎へらるべしと今より豫想せらる▲歌舞伎座は例の馴染の愛澤正義一座を以て蓋明けする由、同一座は目下鎭南浦にて冬籠を爲し多分の切れ込みとなり居る樣子なるも甚麼はあれ、例の雜魚場の大ならぬ某女將が控へ居ることとて、安々引揚げ來るは勿論新たに數名の俳優を加へ且つ裏方等も一切差替へて大に奮鬪すると云へば最れ又面白き芝居を見するならん▲龍山座は目下の處未定なれど多分彼の小喜多村五郎を中心に雲井を上置きに立女形さして花賀を加へ比較的大一座を組織し現に博多壽座に興行中の者を招くに至るべし▲釜山座は屢々來韓したる舊劇眼者の中軸で座頭を福圓(琴高屋)をして蓋明けする由、福圓が今日の人氣は二等俳優としては殆ど當る可からざる者なれば先年仁川に來りし嵐三よりは慥かに好芝居なるべし尙は同劇は釜山より直ちに當地に乘込む答なれば定めて初春の劇界は賑かな事なるべし▲仁川歌舞伎座は未だ定まりたる話はなけれども新年匆々より小屋を空ける譯にも行かざる可ければ其內に極まる事となるべし因みに伊東一座は來る十一二日頃壽座に乘込み極く安値を以て餅搗芝居を興行する由

各地の新聞

▲佐賀縣廳內火災　七日午前二時同縣廳構內なる縣農會樓上事務所より出火し階下肥料檢查所及度量衡檢查所を燒盡し同四時鎭火したり原因は火鉢の殘灰よりにて損害總額一萬圓內外

▲芥溜に千二百圓　久留米通町郵便局事務員長宗勝が官金詐取費消事件の殘金行衞不明なりしが取調の結果同人宅芥溜より錫入千二百圓を發見す

▲無意氣なる心中　大坂、區難波新地三番町澤田樓抱娼妓小金こと三重縣河藝郡河野村北川久五郎四女小さく(二四)と西區九條二番道路廣海松殿の長男虎吉(二一)は互に首を縊め各つて心中を斗り縊息せしを小さくの實姉にして同樓の娼妓さくことれかいよ(二六)が發見し手當宜しきを得たる爲め蘇生す

▲縣會議員の縊死　香川縣會議員三木亮氏は八日午前自宅に縊死す

▲十五の小學敎員　岐阜縣[illegible]郡上多度村大字鵜ノ森の田中梅之助長男省吾は滿十三年十一月にして目下高田高等小學校高等科二年生なるが小學敎員試驗に志願し優等にて及第し此程同縣廳より尋常科訓導の免許證を交附されたる由なり寧馨兒と云ふべし

▲消防の喇叭練習　大阪市にては北區大火に鑑みる所あり消防夫の喇叭隊を召集し八日より同吹奏鍛錬の爲め步兵三十七聯隊に付稽古をなす由

▲有烟パイプ有害　大坂北區此花町松田清太郎方より發賣せる有烟パイプは特許濟なるも有害物と決定

▲六鄕河畔の情死　東京府下荏原郡六鄕川鐵橋を上流へ六丁許りを距たれる所にて夫婦になれぬとて情死したるは岐阜市中大桑町川村彌助の倅彌七(二八)及び同市啓雲町一五松村銀次郎長女ふさ(十六)の兩人にて死體搜査中

▲妻に死れて窃盜　京都府上京區妙蓮寺町高松恒胤(四二)と云ふは本年十月妻に死別れ長男久男(六)長女まさを(三)の二兒を抱へ糊口に窮し遂に窃盜をなしたる爲め六日檢事局へ送られ二兒は養育院に放れ／＼に送られたりとか哀れ深き事といふべし

美術半襟帯上帯締其他組類各種

京城南大門通一丁目 ぼ るり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●徒弟入用 十三歳より十五六歳迄五六名採用 明治町一丁目 糸山蒔繪所

●求職 昨今渡韓の青年拾九歳事務員又は商家に雇はれたし氏名在社(四九〇)

●求勤務 病院又は醫院藥局へ ケーチー生(四九三)

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廻椽二階六疊二間廻椽井戸物置湯取付家賃面談 氏名在社(四七八)

●貸家 北部齊洞廿九の四貸家あり宮內府其他韓國側各官衙には便益の地希望に應じ賄迄上候

●貸家 京城吉野町間數四間湯殿付官衙又は會社員向希望者は電七四番へ

●貸家 吉野町日本式に改築三間押入一間半水道風呂炊事場あり家賃十一圓 氏名在社 四九五

廣告

◉諸官衙御用達

◉西洋洗濯

◉あらいはり

迅速丁寧御一報次第參上可仕候

旭町一丁目 鈴木洗工場 電話申込中

◉牛乳 (純良 消毒 檢査濟)

韓國畜産株式會社 南大門外(電話八八番)

輕便安直 料理店開業

開店祝として特別大勉强

御料理 御壹人前酒付 金五拾錢

此の外か何んでも輕便ご安直とを以て御客樣の御望みに應じます

長谷川町一丁目紅葉床ノ横ニ入 濱の家

焦心罩志多年爲斯道於難徹義奧旨恍然似有得者匪懸推聽斷嗷嗷茫洋辯愈淵臨素面輕鵞也

京城本町五丁目 易斷觀相敎授 土御門派大陰陽師 館主 三一館

●移轉廣告●

從來之營業所狹隘之爲左之處へ移轉す 旭町一丁目二百四十七番戶

質商 川崎萬次郎 元旭町二丁目 電話六七三番

●移轉廣告●

諸官衙御用 大韓陸軍 清國公使館 統監府 牛乳 荒井牧場 電話一〇五六番

意外の安價と均一賣出し

平素の御愛顧に酬ひん爲め來る一日より皆樣の御買求めご且御進物等に御便宜を計り均一大安賣仕候間是非共一度御高覽の上御買上被成下度伏て希上候

追て均一價格中には東コ双子、瓦斯縞名仙、米澤御召等あらゆる嶄新珍柄物澤山取揃へ有之候

●一圓均一 ●二圓均一 ●三圓均一 ●四圓均一 ●五圓均一 ●七圓均一 ●九圓均一

●一圓五十錢均一 ●二圓五十錢均一 ●三圓五十錢均一 ●四圓均一 ●六圓均一 ●八圓均一 ●十圓均一

但均一品には聯合賣出しの景品券なし

京城本町三丁目(電話一五七番)

自由足袋特約御店 合圓城呉服店

德山谷口製煉炭賣出廣告

本品は長門國大嶺無烟炭を原料とし蒸氣機械を以て壓搾せし谷口煉炭なり、現時德山海軍煉炭所の御用炭として買上の榮を荷へり

●嶄新有益なる燃料

●特色 火力は普通石炭に比し耐久力に富み室內暖爐用として第一腦に刺戟を與へず衛生上煤烟尠少入畜に及ぼす害なく火付頗る善く建物、裝飾品等汚瀆の憂なきと實に文明的燃料として經濟上の面目を持てり一度御試用ありて其効力の如何を知り給はんことを

●化合原料 ヒッチ一 有烟金田炭一 無烟炭八

韓國一手販賣 京城太平町二丁目(電話一一六七) 神田組

御婦人様方と丸一

○平素安く仕入れて安く賣る丸一の歲暮賣出し

○昨今の內地相塲下落を標準とし總ての品物は例年に比してヨリ以上の大安賣

○丸一の勉强振りと皆樣御買物は此際

○尙歲暮贈り物の御便宜は商品切手も備へ置きます

○何れも皆新柄珍柄を取揃への丸一の御禮働き

京城本町三丁目

丸一 和洋太物店

電話六三五番

◉新漬大根大賣出

◉新漬澤庵 ◉白菜漬 ◉奈良漬

官製鹽元賣捌。農業器具一式。肥料。種苗。薪炭。日用雜貨。家具。工業農業消毒用藥品一式

農商工部園藝模範場御下品

諸官衙御用達 三輪商會

京城本町一丁目(長谷川町筋) 電話三八六番

明治廿年七月創立

東京火災運送海上保險株式會社

資本金一千萬圓

京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番

事務所 京城本町二〇三 電話一〇六〇番

きゝめのある温泉湯

此の温泉は左の如き病に最も妙なり

一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りん病よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せんき腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他內用には鐵冷温泉を服用すれば尤も効能あり

京城本町一丁目郵便局前

貸席 鐵冷温泉

質店開業

一、各位の御都合に依り質物御用の節は郵書又は御使にても御報あれば店員を差上げ御高名を汚さゞる樣迅速御用を達す是れ弊店の特色

一、一口十錢以上一萬圓迄は何時にても御用を達す然して御預り品は至極町重に保管し萬事御便利を旨とす是れ弊店の最大特色

一、流質の物は家屋許す限り期限後と雖も出來得べく保存を爲し親切を旨とす是れ弊店の特色

京城履町(元大韓日報社横向) 大槻商行質部

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

石川高等法院判事閲 今村內部警務局警視閲 閲下校 日韓印刷株式會社編輯部編纂

◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

●全一冊●紙數凡六百頁◎菊判中截形◎定價金六十錢

右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては將一層否登致し大日を繕約、官制、宮規、官等等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、檢察、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の顧序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日

京城 日韓印刷株式會社出版部

浪花節定席 大阪一座開業廣告

浪花節定席

兼テ新築中ノ處愈々落成仕候ニ付今回大阪浪花節大一座ヲ呼寄セ本月一日ヨリ極メテ安直ニテ精々勉强仕候間何卒御引立ノ程願上候

▲木戶十五錢

京城明治町二丁目 浪花館

忘年新年宴會は梅の家に限る▲

どんな少數の御宴會でも丁寧に、何程多數の御宴會でも粗忽のなきことは梅の家の獨擅ですから、取り分け忘年宴會、新年宴會は破格の廉價で輕便に、氣樂に召上られます樣に御つとめ申上ますから御光來の榮を賜はり度御願申ます

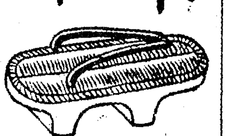
破天荒の大勉强……

御料理 大和町三丁目 梅の家

……破天荒の大勉强

▲忘年新年宴會は梅の家に限る▼

東京足袋



本店東京 京城大和町一丁目 大和屋(日の出橋際)

藤井出張店 電話二百〇五

京城聯合大賣出し福引券差上升

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

大上商店

和洋酒、◯精酎、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候

(電話二五一番)



論より證據 原料 價格 技術 三大勉强 れ試しあれ

京城旭町一丁目 金川靴店

處方調劑の依賴に應ず

京城南大門通三丁目 新井藥房本店

藥劑師 小松禎三

消毒 乳 松尾牧場 京城本町五丁目 電話四十七番

入院隨意

中島醫院

京城壽町三丁目(電話三七八番)

院主醫學得業士 中島貞信

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 九拾萬圓

京城南大門通

株式會社 十八銀行京城支店 (電話四二〇)

本店 長崎市築町

支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山

出張所 大阪、熊本、佐世保、巖原、五島、壹岐

韓國日本

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日歩壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理店 (十八銀行京城支店)

待春日 合のこしえ

京城本町二丁目

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告 電話十番

瀛船 貨物及船客取扱店

仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戶行 山東丸 十二月十九日後三時出

●大連、太沽行 高砂丸 十二月廿一日正午時出

●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 十二月 日午前六時出

●大連行 酒田丸 十二月 日正午時出

●釜山出帆 元山、淸津、浦鹽行 神丸 十二月 日午後時出

御注意 御乘船ノ節ハ當店ヨリ本船迄送迎船ニテ御送迎可申候 本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事